



一般社団法人

ふくい水素エネルギー協議会

2021年10月

NEWS LETTER

vol.07

『福井県嶺南地域における脱炭素社会（水素社会）に向けた取り組み』講演会・見学会の開催

福井県内での脱炭素社会（水素社会）の構築に向けて、10月8日（金）、若狭湾エネルギー研究センターでの講演会と、敦賀市公設卸売市場内の再エネ水素ステーション敦賀の見学会を開催しました。

<講演会>

挨拶： ふくい水素エネルギー協議会 代表理事 中山 浩行

- 講演：
- ・「若狭湾エネルギー研究センターの概要と水素化社会に向けた取組」
若狭湾エネルギー研究センター 技術活用コーディネータ 植村 勝 氏
 - ・「若狭湾エネルギー研究センターで実施された研究の報告
— NiおよびNi合金が成膜された水素化Mg膜からの水素脱離 —」
若狭湾エネルギー研究センター 主幹研究員 石神 龍哉 氏
 - ・「敦賀市における脱炭素社会に向けた取り組み」
敦賀市企画政策部 政策幹 森川 裕介 氏
 - ・「東芝の水素事業と再エネ水素ステーション敦賀での取組」
東芝エネルギーシステムズ株式会社 友納 佐智雄 氏

<見学会>

講演会終了後に、敦賀市公設卸売市場内 東芝エネルギーシステムズ 再エネ水素ステーション敦賀 を見学



ふくい水素エネルギー協議会代表理事
(株)ナカテック 中山 浩行 社長



若狭湾エネルギー研究センターで開催した講演会



若狭湾エネルギー研究センター 植村 勝 氏



若狭湾エネルギー研究センター 石神 龍哉 氏



敦賀市企画政策部 森川 裕介 氏



東芝エネルギーシステムズ(株) 友納 佐智雄 氏

植村氏は、若狭湾エネルギー研究センターの事業概要とイオン加速器などの主要設備、それらを用いた陽子線がん治療法開発などの主な研究概要について説明するとともに、新規水素吸蔵合金の開発およびNaを利用したアンモニア製造法の開発などの「水素」に関する最近の取組を紹介されました。

石神氏は、優れた水素吸蔵能を有するMg合金の水素放出特性を改良する目的で、Ni合金を被覆したMg合金で昇温脱離水素放出スペクトルを測定した結果を報告し、適当な合金組成と膜厚のNi合金を被覆することによって水素放出特性が向上するとされました。

森川氏は、敦賀市の特徴、国のエネルギー施策、敦賀市の取組（ハーモニアスポリス構想、再エネ由来水素ステーション実証、再エネ形成VPPプロジェクト、ゼロカーボンシティ宣言）について説明されました。

友納氏は、日本におけるエネルギーの課題、「水素」を必要とする理由、水素社会の構築に向けた国と東芝の取組、東芝が有する水素関連技術について述べられた後、再エネ水素ステーション敦賀の施設概要を説明されました。



敦賀市公設卸売市場内 東芝エネルギーシステムズ 再エネ水素ステーション敦賀の見学

敦賀市公設卸売市場内 東芝エネルギーシステムズ 再エネ水素ステーション敦賀

見学した『再エネ水素ステーション敦賀』について紹介します。

場 所：福井県敦賀市古田刈66-1303（敦賀市公設卸売市場内）

営業日時：東芝エネルギーシステムズの実証施設であり、一般の人は利用できない。

水素供給：定置式・オンサイト方式

水素充填：供給圧力82MPa 1日当たり燃料電池車約8台の利用に対応可能

事 業 者：東芝エネルギーシステムズ(株)/敦賀市

これまでの経緯：

- (1) 2018年ー東芝エネルギーシステムズ(株)は「水素サプライチェーン構築に関する基本協定」を敦賀市と締結して、敦賀市内における水素サプライチェーンの構築に向けた取り組みを開始。
- (2) 2019年ー敦賀市と東芝エネルギーシステムズ(株)の基本協定に基づく取り組みの一環として、太陽光発電を利用した再エネ水素ステーション「H2One ST Unit™」を設置。この「H2One ST Unit™」は、太陽光発電の電力により水素を製造し、燃料電池車に充填できるシステム。
- (3) 2020年ー福井県が「嶺南Eコースト計画」を策定。東芝エネルギーシステムズ製の自立型エネルギー供給システムのワンコンテナ型「H2One™」を増設し、再生可能エネルギー由来の水素に加え、再生可能エネルギー由来の電気を電気自動車や敦賀市公設地方卸売市場に供給する「H2Oneマルチステーション™」として稼働。県が推進する「嶺南スマートエネルギーエリアプロジェクト」に加わるとともに、経済産業省資源エネルギー庁が公募する「次世代エネルギーパーク」に「若狭湾次世代エネルギーパーク」として施設認定。
- (4) 2021年ー関西電力などが電気自動車（EV）や太陽光発電、水素を活用したVPP（仮想発電所）構築の実証実験の中で、「H2Oneマルチステーション™」をVPP分散電源リソースの一つに位置付け。また、「H2Oneマルチステーション™」に水素払出機能を追加。さらに、水素の貯蔵、運搬、充填機能をコンパクト化して、一般的な運搬車両での取り回し運用を可能にした簡易水素充填機を開発し、FCフォークリフトの運用実証試験に着手。

自立型エネルギー供給システム
「H2One™」



再エネ水素ステーション
「H2One ST Unit™」

水素を貯蔵した
カードルと簡易
水素充填機

敦賀市公設卸売市場内 東芝エネルギーシステムズ 再エネ水素ステーション敦賀の「H2Oneマルチステーション™」

活動予定と報告

10月21日(木)、22日(金)の2日間、福井県産業会館で開催される「北陸技術交流テクノフェア2021」に出展します。是非ともご来場いただき、ブース（T-38）にお立ち寄り願います。また、10月21日(木) 13:30~14:30には、福井県生活学習館にて岩谷産業(株)の間島 寛 代表取締役社長執行役員による記念講演会「水素社会の実現に向けて」が開催されます。多くの皆様のご参加をお願いします。

10月27日(水)、福井市美術館で開催される福井市環境推進会議企業交流会燃料電池自動車試乗会において、「水素エネルギーについての学習会」を担当します。



9月30日(木)、芦原ゴルフクラブにて7名の会員が親睦のためのゴルフ大会を開催しました。

福邦クラブが発行した1『福邦アイズVol. 30』（10月1日発行）にふくい水素エネルギー協議会の組織や8月4日の講演会の様子が掲載されました。

一般社団法人 ふくい水素エネルギー協議会
〒919-0411 福井県坂井市春江町藤鷲塚37-9
株式会社 ナカテック内 事務局 羽木
TEL : 0776-58-3930 FAX : 0776-51-5144